令和２年 10 月 12 日

公益社団法人福岡県剣道連盟

剣道段位級位審査会実施要領【改訂版】

（新型コロナウイルス感染症対策）

＊当面の面、審査会のガイドラインは下記のとおりとします。
ただし、各連合・地域剣道連盟の定める要項に従うこと。

審査会要項（受審者募集）における確認事項

次のことが当てはまる人は

審査会に参加できない。

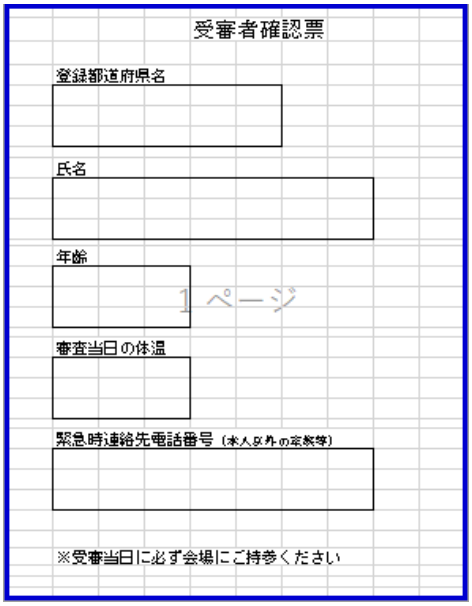
①**体温が 37.5 度以上**ある人や **37 度以上あり且つ風邪症状**がある人。
②同居家族や身近な知人に感染者、または感染の疑いのある方がいる人。
③過去 14 日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人。
④**基礎疾患のある人は、あらかじめ主治医に相談のうえ、審査会参加の了解を得てください。**

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人。

○審査会に申し込む人は、**自己の責任**において当日の審査会に参加するものとする。
○過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、受審について医師と相談して決める。
○保護者（家族）同伴で来場した場合、**受審者以外の方は審査会場のある施設内には入場できない**。基本的に**送迎のみ**とする。特別な理由で入場を認める場合でも、発熱や風邪症状がある方の入場は厳禁とする。（入場者は必ずマスク着用）
○審査会当日の集合時刻について、要項を熟読して間違いのないように努める。

審査会当日の注意事項

○**着替えは原則自宅**で済ませておく。やむなく審査会場の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
○審査会に参加する時は**マスクを必ず着用**すること。（外出時から使用）
○**受審者確認票を必ず持参**すること。忘れると会場に入れない。


受審者確認票

登録都道府県名

氏名

年齢

1ページ

審査当日の体温

緊急時連絡先電話番号（本人以外の家族等）

※受審当日に必ず会場にご持参ください

○木刀が必要な場合は忘れずに携行する。
　審査において**自分の木刀を他の人に貸さない**。また他の人の木刀を**使わない**。
○施設内に入場する者は全員必ずマスクを着用し、私語を慎むように心がける。
○入場する時も含めて、常に**フィジカルディスタンス（他の人との距離）を約2m（最低でも１m）確保する。**
○審査前および審査後に**手洗い、うがい、手指のアルコール消毒**を行う。できれば足の裏も除菌用ウェットティッシュで拭く。
　ごみはビニール袋に入れ密封する。

審査ついて

※道具の貸し借りは禁止

【実技審査】

○飛沫防止対策用の面を必ず使用する。面マスクを必ず着用する。
　60 歳以上のかたは、面マスクに併せてシールドを使用してください。

○面マスクの着用については、酸欠にならないように
　①立体的に覆う。（マスクと口の間に少し空間を設ける）
　②鼻を出して覆うなど、工夫することが大切である。

○鍔ぜり合いにならないように心がける。
　もし、鍔ぜり合いになったら、お互いにすぐに解消する。

【形審査】

○形審査においては、受審者は必ずマスクを着用する。

○自分の木刀を他の人に貸さない。また他の人の木刀を使わない。

【学科試験】

○学科試験は課題に対するレポート提出とする。
　レポートはＡ４サイズの用紙（指定の用紙）で必ず手書きとする。

○課題は要項内で発表する。受審者は審査申込みと同時にレポートを提出する。

運営上の留意事項

〇審査会当日、係員は必ずフェイスガード、マスクを着用する。
〇施設に入場する時に、申込者名簿により**入場者の検温**を実施する。
〇**受付**で受審者が密集して並ばないように、**約 2m 間隔**で床にテープを貼って距離を保つようにする。
〇会場内の**入口と出口**を明確に**分ける**。出入口の数をある程度限定する。
〇施設内の数か所に**アルコール消毒液**を設置する。
〇人が触れる所（ドアノブなど）は**定期的にアルコール消毒**する。

〇受審者は**観覧席**を**控え場所**として使用する。観覧席が密にならないように、**一つ置き**に使用する。
〇熱中症にも気を付ける。
〇会場内の**室温、換気には充分注意**する。

〇審査会には必ず救護係（医療関係者）を配置する。
〇形審査は、組数を増やして全体を短時間で終えるようにする。
〇実技審査において、会場数を増やして受審者の密集する待ち時間を短くする。
〇合格発表はまとめて実施するのではなく、人数を区切って何度も行う。